

実施計画事業名		商店街等活性化事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		建設産業部 水産商工課		課長(主幹)名	畑 均				
総合計画体系	分野	5	産業振興						
	政策	3	地域経済を支える未来の芽を育成						
	施策	1	商業の振興を図ります						
	関連施策								
現状と課題	消費者ニーズの多様化や商業形態の変化などにより、旧来からの商店街、商店会等は、その活力を失いつつある。商店街等ににぎわいと活力を取り戻すため、消費者を満足させる店づくりや経営者の意識改革が必要不可欠となっている。特に駅前地区については、中心市街地活性化法に基づく再開発が進行中であり、本市の認定を受け商業面からまちづくりを運営・管理するタウンマネジメント機関(㈱まちづくり稚内)と連携を図りながら、商店街の振興に取り組んでいる。								
目的	地域の特性を活かした個性的で魅力ある商店街等を形成すること								
5ヶ年展開の	引き続き、㈱まちづくり稚内と連携を図りながら、賑わいを形成するためのソフト事業を実施する。また、中央地区商店街については、平成21年度に商店街振興計画を策定しており、大学や商工会議所と連携を図りながら、この計画に基づく事業展開を支援していく。稚内市中小企業振興条例を見直し、空き店舗を効果的に活用した商店街活性化の取組みが活発になる新たな制度を創設する。								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	稚内中央商店街振興組合の地区内における空店舗数(各年調査時点)		件		目標	10	9	6	
説明					実績	10	8		
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	中小企業振興助成金の交付を受けた商店街等の数		団体		目標	3	4	4	
	説明					実績	3	3	
						目標	-	-	-
	説明					実績			
						目標	-	-	-
	説明					実績			
						目標	-	-	-
説明					実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)	千円	102,137	6,059	2,956				
	国庫支出金	千円	0	0	0				
	道支出金	千円	0	0	0				
	起債	千円	0	0	0				
	その他	千円	0	4,352	0				
	一般財源	千円	102,137	1,707	2,956				
	この事業にかかる職員数	人/年	1.22	1.47	1.47				
人件費(B)	千円	8,450	9,983	9,983					
計(A+B)	千円	110,587	16,042	12,939					
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) <b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)
	<cの場合は、なぜかを分析して記入する> 中央地区商店街振興計画をスタートさせ、ポイントカード事業の立ち上げ、商店街情報の発信、街歩きによる景観点検、花いっぱい事業の企画など、稚内駅前再開発と連動した取組が進展している。市としても、こうした商店街の取組をまちづくり稚内と連携して、側面から支援した。また、総務省の国費事業として「地域ICT利活用広域連携事業」や「緑の分権改革調査事業」を活用。商店街中核店舗内に情報発信コーナー兼休憩コーナーの開設をはじめ、「はじめての稚内料理」などの市民イベント開催を通じて、中央商店街の活動をPRした。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか <b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか <b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか <b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 平成22年度は総務省緑の分権改革調査事業(国費100%)の採択を受け、中心市街地活性化に協力する市民サポーターの発掘、ネットワーク化に向けた調査を実施した。23年度は、本市が中心となって発掘した市民サポーターや団体、企業のネットワークづくり、プラットフォーム創設など中央地区商店街活性化の体制づくりを進める。(必要に応じて、国費補助事業等も検討) さらに、中央地区商店街振興計画を着実に推進するため、まちづくり稚内と連携しながら、必要な支援策を講じる。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--